

# 平成29年度決算に対する

# 各会派の見解

## 的確な将来予測で安定の財政運営を

公明党議員団

平成29年度一般会計決算の実質収支は25億円で実質収支比率は3・3%、実質単年度収支は36億円の赤字となった。基幹収入である特別区税は338億円、納税義務者数や一人当たりの所得額も増加した。健全化判断比率の4つの指標は、全て早期健全化基準を下回り、区の財政状況は健全段階にある。区の借金である特別区債残高は198億円となり、前年度から60億円の減少。一方、区の貯金である基金残高は過去最高の725億円となった。学校改築や区有施設の整備等、財政需要に備え、今後も起債の活用、基金積立と繰入を計画的且つ的確に進めていく必要がある。平成29年度より減少傾向で

あつた人件費は前年度に引き続き増加、扶助費も前年度比4・1%増加していることには、注意を払う必要がある。29年度は新しい中野をつくる10か年計画第3次に則り予算編成を行ったが、未執行の事業、68億円という過去最高の不用額、多額な債務負担行為を設定するも計画通りに進まぬ事業等、執行状況が順調であつたとはいえない。また、特別会計で予算化した事業を予備費を充用し一般会計で行つたことは、慎重な判断に欠けていたと指摘する。

区は新しい基本構想・基本計画策定に着手する。事業の進捗を十分に検証し、区民サービスの向上に資する行政運営となることを望むものである。

## 区民の声を聴き区民と共に進む区政を

立憲民主議員団

平成29年度決算は、地方債が3年連続で減となる一方、積立金は725億円と過去最高を更新し、各財政指標に照らしても好決算でした。しかし、今後の法人住民税の一部国税化の拡大による特別区交付金の減や、ふるさと納税による特別区民税の影響などの懸念があります。今後も、扶助費の増額に注視すると共に、学校施設の建替え、中野駅周辺・西武新宿線沿線のまちづくりなど、基金と起債のバランスをもつた活用が求められます。

個別の事業については、大規模公園整備、災害に強いまちづくり、防犯カメラの設置や通学路の安全対策、就学援助金の前倒し支給などは評価します。ことを求めます。

なお、待機児童対策も評価しますが、緊急対策として7園の区立認可外園の整備については、地域偏在を考慮して配置することが必要でした。グローバル戦略推進については、区の身の丈に合わせ、区民を主役においたシビックプライドの考え方へ転換された事は歓迎します。

引き続き、未来への投資としての未就学児への支援、公教育の充実と、いつ起きてもおかしくない災害への対策、超少子高齢化社会に対応できる中野モデルの構築が必要です。併せて今後は、区民と共に進む区政の進展をより一層図るため、丁寧な意見の聴取に努めることを求めます。

## 未来を見つめて備えに着手すべき今

自由民主党議員団

平成29年度普通会計決算は、歳入が、市町村民税法人分の一部国税化の影響により特別区交付金が15億円減少したものの、特別区税が6億円増加し、全体では前年比13億円減の1252億円余となった。

歳出は、保育所待機児童緊急対策をはじめとする子育て支援の拡充により扶助費が15億円増加したものの、投資的経費等の減少により、全体では前年比9億円減の1221億円余となった。

以上の結果、単年度収支はマイナス5億円となったものの、基金の積立や起債の繰上償還により実質単年度収支は36億円となり堅調な決算となった。しかし、少子高齢化対策や施設の維

持更新費等への備え、中野駅周辺や西武新宿線沿線等のまちづくりによる街の魅力や安全を高めるための都市基盤の整備、歳入構造を強化し人口減少への備え等、抱える課題は山積している。そのため、事業執行は漫然と前年の事業手法を継承するのではなく、常に新たな工夫をもって効果的に行うこと、補助金等の財源確保に努めること、将来生じる需要を的確に把握し、計画的な資金計画を重ねること、消費拡大や就労支援につながる賑わい創出、産業振興に努めること、また、住環境の向上などの住宅施策を重ね、区民所得の向上を目指すべきと考え、更なる財政改善を目指すことを期待します。

## 区民要求と福祉の向上に資する執行を

日本共産党議員団

2017年度一般会計決算は、小児インフルエンザ等のワクチン接種公費助成や、スクールソーシャルワーカー増員、就学援助による小中学校入学準備金の3月支給などは評価できます。しかし、第一に、区民合意がなく、区民の反対の声を押し切つて事業を進めたことは認められません。中野駅北口エリアの再開発を起点に玉突きで新区役所、新体育館の整備が計画・実施され、平和の森公園再整備に繋がったことで多くの樹木伐採が行われました。また、旧桃丘小跡地利用に関わつて学校法人と賃貸契約をめぐる裁判訴訟となり、費用負担が発生したことも問題です。第二に、区民の願いに応えられ

なかつた点です。保育園の待機児童解消のために区立認可外保育室7か所の整備を予算化しましたが、十分な検討がなされなかつたことで適切な配置とならず、待機児童解消への寄与は高くありませんでした。また、区立園民営化に係る業務委託の予算を計上しましたが、保護者からは批判の声があがりました。本腰を入れた認可保育園の増設が必要です。第三に、この年度も49億円の積立金の増額を行う一方、財政調整基金繰入金金は0円という、規律ある財政運営とはいえない難い予算の編成と執行に問題を残す決算となりました。区民要求の実現と福祉向上に資する予算計上は十分可能であつたと言えます。

## 区民の声と大胆な発想で新しい中野を

都民ファースト・無所属の会

平成29年度決算は、実質収支及び歳入歳出の規模としては、例年と同水準であつた。一方、区の貯金である基金残高も過去最高の725億円となり、借金である区債残高は過去最低の198億円となり、田中前区長就任時の財政非常事態を抜け出したかに見える。ただし、今後、区内公共施設の更新を「証拠に基づく政策立案(EBPM)」を提示することが急務である。持続可能な「新しい中野」を作っていくための「中野大改革」を掲げて人口減少社会に立ち向かうべきである。「子育て先進区」を掲げ当選された酒井新区長には、大胆な発想での民間活力の導入や小池都知事との連携を軸に区政運営を

では、人口減少社会において、流入人口は頭打ちになってしまう可能性はあった。一方、区の貯金である基金残高も過去最高の725億円となり、借金である区債残高は過去最低の198億円となり、田中前区長就任時の財政非常事態を抜け出したかに見える。ただし、今後、区内公共施設の更新を「証拠に基づく政策立案(EBPM)」を提示することが急務である。持続可能な「新しい中野」を作っていくための「中野大改革」を掲げて人口減少社会に立ち向かうべきである。「子育て先進区」を掲げ当選された酒井新区長には、大胆な発想での民間活力の導入や小池都知事との連携を軸に区政運営を